



2025年3月3日

各位

会社名 ミガロホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中西 聖  
(コード番号：5535、東証プライム)  
問合せ先 取締役 CFO 岩瀬 晃二  
(TEL. 03-6302-3627)

## 流通株式比率向上のための代表取締役社長の株式売却実施（2025年2月実施）について

当社の代表取締役社長中西聖は、当社の親会社である資産管理会社を通して当社株式を15,405,600株（2025年3月1日付株式分割後、発行済株式総数（自己株式を除く）に対して52.66%）、個人保有分として1,487,200株（2025年3月1日付株式分割後、発行済株式総数（自己株式を除く）に対して5.08%）保有しておりますが、流通株式比率向上による流通株式時価総額向上、それによる東証平均株価指数（TOPIX）の組入れへの寄与のため、同氏の個人保有分の一部が売却されましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、同氏の売却に関する2025年3月以降の予定はございません。

### 記

#### 1. 本売却の目的

当社が2023年10月2日付で開示した「上場維持基準への適合に向けた計画書」（以下、「計画書」という。）に記載したとおり、当社は、東京証券取引所プライム市場の上場維持基準のうち、流通株式時価総額の1項目のみにおいて、基準を充たしておらず、2027年3月末までに上場維持基準を充たすべく取組を進めております。計画書の「2. 上場維持基準への適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容 ①取組の基本方針 ii. 段階的流動性供給の要請の検討」に記載したとおり、流通株式時価総額は時価総額と流通株式比率で構成されるため、時価総額が増大し、成長株とご評価いただき当社株式の需要が高まってきた際に、流動性が供給されることで、さらに流通株式時価総額が向上する可能性があると考えております。そのため、当社の親会社である資産管理会社の支配株主であり、個人としても大株主である代表取締役社長中西聖に対し、市場での需給バランスや資本政策を鑑みながら段階的に持株比率を減らすことを当社として要請してまいりました。

現時点におきましては、日頃からの株主の皆様のご支援のおかげもあり、東京証券取引所プライム市場の上場維持基準に適合する株価水準となっておりますが、昨今は流動性を重視する流れが強くなり、現在実施されている東証平均株価指数（TOPIX）への組入れの見直しにおいても組入れ銘柄となるには、流通株式時価総額は非常に重要な要素となっており、3月末時点においてその測定が行われるため、ここを意識した流動性が重要になると考え、東京証券取引所プライム市場の上場維持基準に適合する株価水準であるものの、同氏に売却を実施していただいたということになります。なお、今後は、一旦の目途が立ったため、同氏の売却に関する予定はございません。

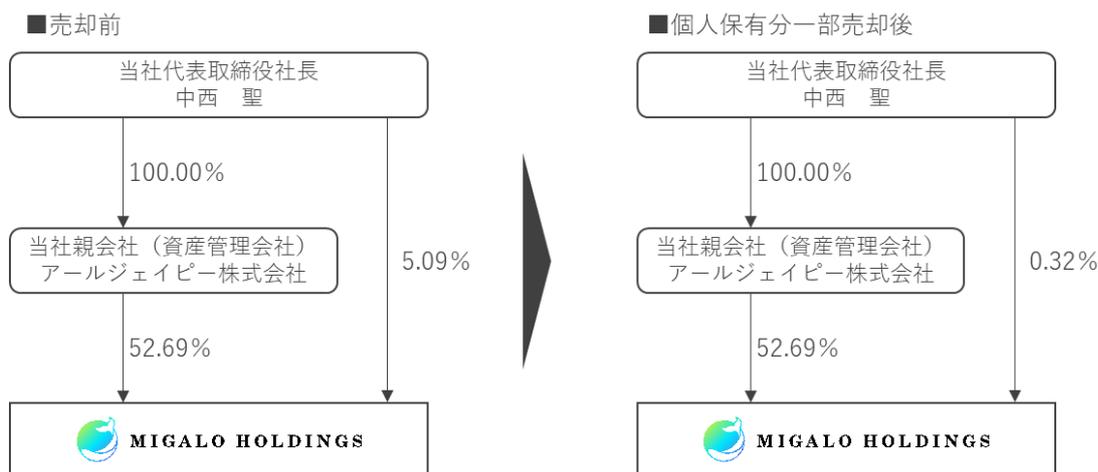
日本取引所グループのTOPIX改革案においては、TOPIXの段階的組込み期限が、2028年7月にお

いて、採用銘柄約 1,200 社となっております。この点も意識しながら、当社は、我々が持つ有形、無形の DX 推進ビジネスのアドバンテージを生かし持続的な事業成長を実現し、企業価値と株式価値の増大を継続してまいります。株価上昇が最も流通株式時価総額上昇に寄与するため、資本コストと株価を意識した経営をさらに推し進めるとともに、より一層、様々な面で株式価値向上、IR 活動強化に努めてまいります。

## 2. 本売却の概要

- (1) 売却株式数 1,394,000 株  
 ※2025 年 3 月 1 日付株式分割を考慮した数、当社発行済株式総数（2025 年 2 月末時点、自己株式を除く）の 4.77%
- (2) 売却期間 2025 年 2 月 14 日～2025 年 2 月 28 日
- (3) 売却方法 市場内売却（証券会社一任）

### <関係図>



(参考) 同氏による当社株式の持株比率 (自己株式を除いて算定)

直接所有 0.32% 親会社所有分 52.66% 計 57.75% (2025 年 3 月 3 日現在)

※親会社の支配株主は代表取締役社長中西聖であります。

## 3. 今後の見通し

本株式売却は、当社の親会社及び親会社以外の主要株主の異動には該当いたしません。

以上